

Himeji St.Mary's Hospital

姫路聖マリア病院

回復期リハビリテーション病棟のご案内



ACCESS



社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院

〒670-0801 兵庫県姫路市仁豊野 650
TEL. 079-265-5111 (代表)

電車・バスでお越しの場合

JR播但線…仁豊野駅下車(南へ徒歩10分)
神姫バス…姫路駅(北口)⑦番のりばより約25分
「国道マリア病院」停留所下車(徒歩2分)
「マリア病院」停留所下車(病院正面玄関前すぐ)
※「マリア病院」停留所は、発着時間帯が限られます

お車の場合

病院敷地内に第1・第2駐車場があります。
満車の場合は、病院西側の提携駐車場をご利用ください。
(駐車料金は同一料金です)

つながるリハビリ



姫路聖マリア病院

回復期リハビリテーション病棟だからできること

整形外科、脳神経外科、循環器内科、内科の医師がチームを統括し
 “患者様一人ひとりの目標の達成を目指す”医療を提供します

- 1 姫路市北部・周辺地域を支える中核病院として、急性期から回復期まで切れ目のない総合的医療サービスを提供します
- 2 キリスト教倫理に基づき真心からの愛ある医療を目指し、経験豊かなスタッフがリハビリテーション効果を高めるチームアプローチを実践します
- 3 退院後も安心して生活を送っていただけるよう、本会の介護保険事業所など(※)と連携してサポート体制を整えます
(※)介護老人保健施設、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所など

回復期リハビリテーション病棟の特徴

急性期の治療が終了し、退院後の生活を少しでも入院前の状態に近づけるため、専門的なリハビリテーション（理学療法・作業療法・言語療法）を提供します。リハビリ訓練のほかにも、起床から就寝までの日常生活動作全般、すなわち、食事、着替え、歯磨きなどの整容、排泄（夜間を含む）など「生活そのもの」を「リハビリ」と捉え、多職種連携により24時間365日体制でサポートすることが大きな特徴です。
 ※回復期リハビリテーションでは、整形外科疾患や脳血管疾患など入院できる対象疾患と入院期間が限られています

一日の過ごし方(めやす)

- 06:00 起床
- 07:00 身支度
洗顔・着替え・排泄の練習
- 08:00 朝食
食事動作・口腔ケアなどの練習
- 08:30 バイタルチェック
体温・血圧・脈拍などの測定
- 09:00 リハビリ
個別目標に基づく立位・歩行練習など
- 12:00 昼食
言語聴覚士等による食事評価など
- 13:00 リハビリ
個別目標に基づく立位・歩行練習など
- 15:00 入浴、レクリエーション
デイルームでのアクティビティなど
- 18:00 夕食
食事動作・口腔ケアなどの練習
- 19:00 身支度
着替え・排泄の練習
- 22:00 就寝



歩行練習(平行棒)



歩行練習(歩行器)



ADL練習(着替え)



上肢練習



口腔ケア



外気浴

医師 整形外科、脳神経外科、循環器内科、内科の医師が、疾患・障害の総合的診断を行い、適切なリハビリ処方やリスク管理、具体的な目標設定の提案を行います。	看護師 医師の診療補助をはじめ、療養上の支援から心のケアまで幅広い役割を担います	介護福祉士・介護員 食事、排泄、入浴など療養生活全般にわたる直接的な介護を担います	ソーシャルワーカー 入院生活や退院後の生活のお困りごとに対し、介護保険・福祉制度などを提案し解決に向け援助します

安心と信頼に応えるチーム医療

専門性を活かし包括的にサポートします

回復期リハビリテーション病棟の目標

- 患者様のリハビリの意欲や日常生活動作の維持・向上を目指します
- 安全・安心にリハビリを進められるよう援助し、二次合併症の予防や早期発見に努めます
- 患者様やご家族の心のケアにも配慮しながら、それぞれの目標が達成できるように支援します
- 患者様やご家族を中心にすべてのスタッフが協働して情報共有を図り、質の高いリハビリテーション医療の提供を目指します



管理栄養士

より効果的にリハビリに取り組みめるように食事面からサポートします

理学療法士 筋肉・関節の運動のほか、寝返り、起立、歩行、階段昇降など日常生活上の基本動作練習を援助。福祉用具や住宅改修のご相談にも対応します	作業療法士 在宅生活において「大切にされている作業活動」への復帰を目指し、食事、排泄、着替え、入浴などの動作練習を援助します	言語聴覚士 摂食嚥下障害、失語症などの言語障害に対応して、食べ物の飲み込みや会話などの練習を援助します	薬剤師 医師の処方に基づき安全かつ確実に内服薬、注射薬の調剤・管理を行います

入院から退院までの流れ

